

四半期報告書

(第167期第3四半期) 自 平成26年7月1日
至 平成26年9月30日

静岡瓦斯株式会社

E04516

第167期第3四半期（自平成26年7月1日 至平成26年9月30日）

四 半 期 報 告 書

- 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

静岡瓦斯株式会社

目 次

頁

第167期 第3四半期報告書

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	4
1 【株式等の状況】	4
2 【役員の状況】	5
第4 【経理の状況】	6
1 【四半期連結財務諸表】	7
2 【その他】	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月10日
【四半期会計期間】	第167期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	静岡瓦斯株式会社
【英訳名】	SHIZUOKAGAS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 戸野谷 宏
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
【電話番号】	054(284)4141（代表）
【事務連絡者氏名】	コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
【電話番号】	054(284)4141（代表）
【事務連絡者氏名】	コーポレートサービス部経理担当マネジャー 森田 将信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第166期 第3四半期 連結累計期間	第167期 第3四半期 連結累計期間	第166期
会計期間	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日
売上高 (百万円)	113,328	124,826	153,459
経常利益 (百万円)	5,141	5,667	6,443
四半期(当期)純利益 (百万円)	2,518	3,215	3,887
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,808	4,028	6,602
純資産額 (百万円)	62,568	66,985	64,691
総資産額 (百万円)	112,337	119,935	115,746
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.42	43.61	53.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	43.59	—
自己資本比率 (%)	49.1	49.8	49.4

回次	第166期 第3四半期 連結会計期間	第167期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	9.49	4.54

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）は含まれておりません。
- 3 第166期第3四半期連結累計期間及び第166期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

なお、平成26年1月6日付けで御殿場瓦斯株式会社（静岡県御殿場市）を連結子会社としております。また、平成26年7月2日付けで当社の完全子会社として静岡ガス&パワー株式会社（静岡県富士市）を設立いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間の売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ10.1%増の124,826百万円となりました。

一方、原料価格の上昇等により売上原価も増加しましたが、売上高の増加がこれを上回ったことなどから、営業利益は前年同期に比べ8.5%増の5,339百万円、経常利益は10.2%増の5,667百万円、四半期純利益は27.7%増の3,215百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

①ガス

ガス販売量は、気温の影響等により家庭用が増加しましたが、卸販売の減少等により、前年同期並みの1,029百万m³となりました。

売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、前年同期に比べ10.5%増の108,999百万円となりました。一方、原料価格の上昇等による売上原価の増加や静浜幹線の運用開始に伴う費用の増加等により、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ1.5%増の6,990百万円となりました。

②LPG・その他エネルギー

売上高は、LPG販売でのガス販売単価の上昇やガス販売量の増加等により、前年同期に比べ10.4%増の10,058百万円となり、セグメント利益（営業利益）は14.2%増の459百万円となりました。

③その他

売上高は、設備工事売上の増加等により、前年同期に比べ12.9%増の10,500百万円となり、セグメント利益（営業利益）は126.1%増の288百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、減価償却が進む一方で、原料受入のタイミングによる原材料の増加や静浜幹線関連への投資等により、前連結会計年度末に比べ4,188百万円増の119,935百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済が進む一方で、運転資金需要に応じた短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,894百万円増の52,949百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,294百万円増の66,985百万円となり、自己資本比率は49.8%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	76,192,950	76,192,950	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	76,192,950	76,192,950	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	—	76,192,950	—	6,279	—	4,098

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成26年6月30日現在で記載しております。

① 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,463,900	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 73,722,600	737,226	—
単元未満株式	普通株式 6,450	—	一単元 (100株) 未満の株式
発行済株式総数	76,192,950	—	—
総株主の議決権	—	737,226	—

② 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合 (%)
(自己保有株式) 静岡瓦斯㈱	静岡県静岡市駿河区八幡 一丁目5番38号	2,463,900	—	2,463,900	3.23
計	—	2,463,900	—	2,463,900	3.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（昭和29年通商産業省令第15号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	18,700	16,534
供給設備	28,632	38,423
業務設備	5,760	5,689
その他の設備	4,137	4,389
建設仮勘定	10,429	269
有形固定資産合計	67,659	65,307
無形固定資産	1,640	1,438
投資その他の資産		
投資有価証券	9,727	10,086
長期貸付金	7,528	8,584
繰延税金資産	464	433
その他投資	1,179	1,916
貸倒引当金	△193	△138
投資その他の資産合計	18,706	20,881
固定資産合計	88,006	87,627
流動資産		
現金及び預金	526	594
受取手形及び売掛金	13,113	13,566
商品及び製品	426	403
原材料及び貯蔵品	10,236	15,275
繰延税金資産	647	634
その他流動資産	2,844	1,875
貸倒引当金	△53	△42
流動資産合計	27,740	32,307
資産合計	115,746	119,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	19,613	17,422
繰延税金負債	839	965
退職給付引当金	2,431	2,079
ガスホルダー修繕引当金	94	-
負ののれん	21	-
その他固定負債	297	219
固定負債合計	23,298	20,686
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	6,364	6,259
買掛金	9,535	9,592
短期借入金	4,710	10,607
未払金	2,542	1,849
未払法人税等	1,687	1,123
繰延税金負債	-	6
賞与引当金	454	1,036
その他流動負債	2,462	1,786
流動負債合計	27,756	32,262
負債合計	51,055	52,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,626	4,626
利益剰余金	43,420	45,899
自己株式	△1,252	△1,252
株主資本合計	53,074	55,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,071	4,171
繰延ヘッジ損益	6	-
その他の包括利益累計額合計	4,077	4,171
新株予約権	-	34
少数株主持分	7,539	7,226
純資産合計	64,691	66,985
負債純資産合計	115,746	119,935

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	113,328	124,826
売上原価	90,216	99,759
売上総利益	23,111	25,066
供給販売費及び一般管理費	18,187	19,726
営業利益	4,923	5,339
営業外収益		
受取利息	132	119
受取配当金	86	91
負ののれん償却額	176	21
持分法による投資利益	-	170
雑収入	201	217
営業外収益合計	596	619
営業外費用		
支払利息	361	279
雑支出	16	11
営業外費用合計	378	291
経常利益	5,141	5,667
特別損失		
固定資産売却損	71	-
減損損失	314	-
特別損失合計	385	-
税金等調整前四半期純利益	4,755	5,667
法人税等	1,548	1,733
少数株主損益調整前四半期純利益	3,207	3,934
少数株主利益	689	718
四半期純利益	2,518	3,215

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,207	3,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,611	100
繰延ヘッジ損益	△10	△6
その他の包括利益合計	1,601	93
四半期包括利益	4,808	4,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,113	3,309
少数株主に係る四半期包括利益	694	718

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

法人税等の税率変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額修正

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成26年法律第10号）が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成27年1月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来の32.5%から29.9%になります。

この税率変更による繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）への影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

下記関係会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
静岡パイプライン(株)	5,163百万円	5,541百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
減価償却費	7,127百万円	7,934百万円
負ののれんの償却額	△176百万円	△21百万円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	329	4.5	平成24年12月31日	平成25年3月25日	利益剰余金
平成25年8月7日 取締役会	普通株式	365	5.0	平成25年6月30日	平成25年9月3日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月27日 定時株主総会	普通株式	368	5.0	平成25年12月31日	平成26年3月28日	利益剰余金
平成26年8月6日 取締役会	普通株式	368	5.0	平成26年6月30日	平成26年9月2日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	98,060	8,867	106,928	6,399	113,328	—	113,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	582	244	826	2,904	3,731	△3,731	—
計	98,642	9,112	107,754	9,304	117,059	△3,731	113,328
セグメント利益	6,885	402	7,287	127	7,415	△2,491	4,923

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,491百万円には、セグメント間取引消去185百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,677百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	108,066	9,743	117,810	7,015	124,826	—	124,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	932	314	1,247	3,484	4,732	△4,732	—
計	108,999	10,058	119,057	10,500	129,558	△4,732	124,826
セグメント利益	6,990	459	7,449	288	7,738	△2,398	5,339

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,398百万円には、セグメント間取引消去191百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,590百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	34円42銭	43円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益 (百万円)	2,518	3,215
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	2,518	3,215
普通株式の期中平均株式数 (株)	73,140,006	73,728,988
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	—	43円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	38,612
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年8月6日開催の取締役会において、第167期の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当総額 368百万円

1株当たり中間配当額 5円00銭

支払請求権効力発生日並びに支払開始日 平成26年9月2日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

静岡瓦斯株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 篠原 孝広 ⑩指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 努 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている静岡瓦斯株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、静岡瓦斯株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月10日
【会社名】	静岡瓦斯株式会社
【英訳名】	SHIZUOKAGAS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 戸野谷 宏
【最高財務責任者の役職氏名】	—
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長戸野谷宏は、当社の第167期第3四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。